

研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	留学生等を対象とした日本の文化(お茶)を介した交流促進				
研究組織	代表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 茶学総合研究センター・ 特任教授	氏名	中村 順行
	研究分担者	所属・職名	静岡県茶業研究センター長	氏名	小林 栄人
		所属・職名	静岡県お茶振興課・課長	氏名	佐田 康捨
		所属・職名	静岡県茶業会議所・専務理事	氏名	伊藤 智尚
		所属・職名	静岡 JA 経済連茶業部・部長	氏名	真田 泰伸
		所属・職名	茶学総合研究センター・助教	氏名	斎藤 貴江子
		所属・職名	茶学総合研究センター ・客員研究員	氏名	海野 けい子
	発表者	所属・職名	食品栄養環境科学研究所 茶学総合研究センター・ 特任教授	氏名	中村 順行

講演題目	留学生等を対象とした日本の文化(お茶)を介した交流促進
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>県立大学に芽生え始めてきたお茶への愛着、楽しみをさらに強化するとともに茶による国際交流や地域との連携を深めつつ、県大発の幅広い情報発信を行うため、下記の取り組みを実施した。</p> <p>(1)留学生などに茶を通して日本の文化を愉しんでいただく：本年受け入れの留学生などを対象に4月と9月にWelcome teaとして「日本の文化を知ろう！お茶の体験講座」を開催した。</p> <p>(2)お茶に関する幅広い情報の発信：「茶学入門」には191名が、大学間連携による(ふじのくに学)「茶学」には40名の受講生があった。また、県民・業界関係者などへのセミナーは15回開催し、県大発の情報を発信した。</p> <p>(3)美味しいお茶を愉しむ方法の発信：月一回のFree Tea Café の開催や食堂での各種お茶の提供を行った。</p> <p>(4)お茶による地域との連携強化：お茶を介して学生による地域活性化に向けた活動支援や学内に芽生えた自主のお茶サークルの活動をサポートするため、小・中・高校生などを対象としたお茶講座や、県大お茶グッズを作成しお茶への関心を高めるための活動や地紅茶フェスティバルを利用しての子供向けに県大発のお茶クイズなどを行った。</p> <p>以上のような活動を繰り返すことで、日本茶を介して学生間の交流はもとより、国際交流にも寄与したり、茶学教育による人材育成を進めるとともに、お茶による県立大学へのアイデンティティを高める一助になったものと考えている。</p>